

みんなでつくる 読書月間

武蔵野市立第五小学校 編



主な取り組み

- ①朝読書
- ②読書感想文・感想画
- ③お話の会
- ④読み聞かせ(図書室サポーター/図書委員/保護者)
- ⑤「先生のおすすめ本」の展示
- ⑥読み聞かせ朝会

うれしい人的支援

- 図書室サポーター
市内各校に配置されており、学校図書館の利用の支援や授業の補助、図書館データベースの維持管理をしています。
- 図書室掲示ボランティア
毎年募った保護者のボランティアの方が、季節やコーナーに合わせた掲示物や飾りを作成しています。

取組	取組の概要	様子
①朝読書	平常時は、火曜日・金曜日の朝に15分間の読書時間を設定しています。読書月間では、さらに木曜日の学級指導時間も朝読書とし、いつでも手元に本のある生活を目指しています。	
②感想文	全校児童が読書月間中に読んだ本の感想文(紹介文含む)と感想画を書き、読書交流をしています。各学級前や図書室に掲示し、本のジャンルを広げようとしています。	
③お話の会	素話*をしてくれるサークルの方を招いています。学級ごとにランチルームの和室で、1時間聞かせていただきます。全学年実施していることが特徴ですが、お話を学年によって変えてくれます。ことばの豊かさに浸る時間です。 *絵本や紙芝居などの道具を使わずに童話、昔話などを語ること	
④読み聞かせ	図書室サポーター…低学年・中学年それぞれを対象にした読み聞かせを中休みに実施しています。いつもは校庭で元気に遊んでいる子供たちもこの日は図書室に集まってきます。 図書委員…子供たちの発案で始まった取り組みです。朝読書の時間に、1～4年の学級に読み聞かせの出前をします。 保護者…普段から朝読書に読み聞かせをしている学級もあります。読書月間には全学級で保護者の読み聞かせを実施しています。	
⑤展示	教員全員が、図書室にある本の中から「おすすめの1冊」を選び、紹介するポップを書きます。本とともに展示すると、貸出率がぐんと上がります。	
⑥読み聞かせ朝会	子供たちは、書名と紹介コメントの一覧から行きたい教室を選び移動します。全員が好きな本の教室に行ってよいのです。時刻になると読み聞かせスタート!どの先生が読んでくれるのか、どんな友達が集まるのかとわくわくする取り組みです。	